



ナツツバキ

インフォ・アクセス

島根大学医学図書館ニュース

Vol. 9, No. 6

2013年6月27日 発行

News !

JCR(Journal Citation Reports)2013年版がリリース !

(JCR)2013年版がリリースされ、2012年のインパクトファクターが確認できるようになりました。JCRのインパクトファクターは、学術雑誌の評価指標を提供するデータベースで、収録論文の引用データをもとに算出された年間統計を提供し、研究コミュニティにおける当該雑誌の影響度を計るデータとして活用できます。本学では、“Science Edition”と“Social Science Edition”が利用できます。

- **アクセス**→「図書館HP-ARB-その他の情報」or「E-Resource Search-画面下JCR Web」
- **その他、インパクトファクターの調べ方・FAQなど**
<http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/jcr/support/>

”JSTOR“の全分野トライアル開始 !

このほど電子ジャーナルのJSTOR Archive Collections+ CSP(Current Scholarship Program)の、無料トライアルを開始しました。この機会に是非ご利用ください。島根大学では、Arts & Sciences I CollectionおよびHealth & General Sciences Collectionを契約していますが、トライアル期間中は、JSTORで提供される全ての電子ジャーナルを利用することができます。(松江、出雲キャンパス限定)

- **トライアル期間**: 2013年6月14日(金)~2013年9月2日(月)
 - **アクセス用URL**: <http://www.jstor.org/> ● **収録誌**: <http://about.jstor.org/content/content-jstor>
- ※**JSTOR** 米国の非営利団体が提供する人文・社会系、理科学系のコアな学術雑誌のアーカイブで、創刊号から最新号より概ね3年~5年より前の号までの全文ファイルを収録しています。
 ※**CSP** JSTORでカレント部分を提供するサービスで、38の出版者、230誌以上が提供されています。
 HPのお知らせ <http://www.lib.shimane-u.ac.jp/new/new.asp?disp=2&id=1106>

Maruzen eBook Library“電子ブック”の紹介 !

本学で契約している丸善の“eBookLibrary”では、新規に追加された「シリーズ生命倫理学 15冊」を含め、現在、190冊がオンラインで利用できます。人文社会・自然科学のほか医学・看護分野のタイトルも含まれていますので、是非ご利用ください。※各タイトルの同時利用可能-1名(1端末)
 ※収録タイトルは、図書館のOPAC(蔵書検索)での検索も可能です。電子ブックのデータには、OPAC画面下部に«eBook»ボタンが表示されます。 **Maruzen eBook Library =>**

<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookList/P1/%20/P2/TITLE/P3/true>

HPのお知らせ <http://www.lib.shimane-u.ac.jp/new/new.asp?disp=2&id=1105>

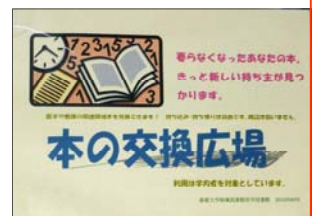
ブラウジング雑誌“無償提供会”の案内 !

医学図書館では、保存期間を過ぎたブラウジング雑誌バックナンバーの「無償提供会」を以下の期間行います。対象雑誌は、「世界、文芸春秋、Newton、栄養と料理、キネマ旬報、山と溪谷、芸術新潮、暮らしの手帖」等があります。先着順ですでお見逃し無く!

- **日時**: 平成25年7月4日(木) 10:00 ~7月9日(火) 16:00
- **場所**: 図書館棟2階医学図書館前「本の交換広場」

※詳細は図書館HPの「お知らせ」や「図書館のポスター」をご覧ください。

- **ポスターPDF** <http://lib.http://lisa.shimane-u.ac.jp/new/new.asp?disp=2&id=1110>



Contents	
News !	1
JCR 2013年版リリース	
JSTORの全分野トライアル開始!	
Maruzen電子ブック紹介	
ブラウジング雑誌無償提供会の案内	
図書館TIPS	2-3
学術情報の利用 No.16 マスターしよう!	
島大OPAC(3)	
検索にはコツがある	
医学図書館の動き	4
第2回附属図書館運営会議報告	
第84回医学図書館協会総会報告	
講座等事務説明会報告 “自炊”にはご注意ください!	
編集後記	4



図書館を利用する際に知っておくと便利な情報をお伝えします。

目次

1	OPACとは
2	初めに検索をする
3	“検索”にはコツがある
4	次に検索結果を吟味する
5	そして素性と住所を確認する
6	島大OPAC、検索以外の機能

キーワードの設定は難しい

OPACでは少ししか無かったのに、本棚には結構あったのうこと！？



検索はきちんと出来ていたかどうか。“不十分かも”と用心することも重要。



島大OPACの一般規則

1. 大文字、小文字は区別しません。また混在も可能です。
2. 英数字とカタカナは全角・半角を区別しません。
3. カタカナor漢字→ひらがな、日本語→ローマ字等、異なる表記で入力することも可能です。
4. 「・」(中点)「%」「\$」などの記号は無視して検索。「ー」(長音)はあっても無くても同じ検索結果。

島大OPACの「ヘルプ」で確認できます。

前方一致、中間一致そして後方一致

キーワードに“*”(アスタリスク)を付けることで、その部分を省略して検索することができます。キーワード全体を思い出せないときはもちろん、語尾変化や複数形、出版年の年代検索等に有効です。

前方一致検索 キーワードの前半部分 + アスタリスク

例) 「communi*」→「community」や「communism」等の語を含むものを検索出来ます。

中間一致検索 アスタリスク + キーワードの一部分 + アスタリスク

例) 「*cat*」→「educational」や「complicating」等の語を含むものを検索出来ます。

後方一致検索 アスタリスク + キーワードの後半部分

例) 「*cation」→「classification」や「publication」等の語を含むものを検索出来ます。

アスタリスクで省略すれば、入力ミスも防げるよ



Q マイケル・サンデル著『これからの「正義」の話をしよう：いまを生き延びるための哲学』を島大OPACで検索する。検索してヒットするのは以下のうちどれか。

- ア) 詳細検索で書名と著者名を正しく入力して検索。
- イ) 簡易検索で「これから 正義」と入力して検索。
- ウ) 簡易検索で「これから せいぎ」もしくは「korekara seigi」と入力して検索。
- エ) 簡易検索で「これからの正義*」と入力して検索。
- オ) 簡易検索で「これからの正義」と入力して検索。

便利な機能もあるけれど、それを使いこなす心構えが必要です。



A ア) ○: 正しく入力するのがポイント。覚え間違えている箇所があればヒットせず。イ、ウ、エ) ◎: 上述のため、単語に区切る方がおすすめ。前方一致で省略も可能。オ) ×: 前方一致等をしない場合、全部or単語でないと検索出来ません。

検索結果が多すぎて必要な資料が見つげにくかったり、反対に少なすぎて役に立たなかったりすることはありませんか？ 以下のような原因があるかもしれません。検索システムの特性を知り、トライ&エラーで検索を工夫していくことも必要です。

● 検索する側: キーワード設定不備

- a. 不適切な単語の設定 → 右図
- b. 単語の組み合わせ不備 → 論理演算(前号)
- c. 検索条件の未設定 → 検索条件(前号)

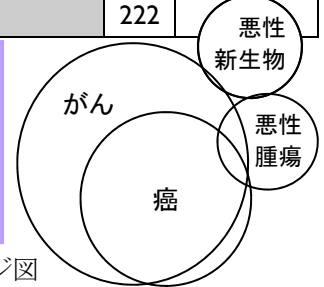
● 検索される側: データの特性

- a. タイトルと内容の齟齬 → 分類や件名の利用
- b. 求める内容を一部分のみ掲載(例: 1章のみ) → 検索範囲を広げる(分類の利用 等)

例) 島大OPACでの検索結果

検索結果	該当件数	「がん」とのAND検索
がん	1452	-
癌	734	600
悪性腫瘍	61	18
悪性新生物	3	1
がん OR 悪性腫瘍	1495	-
がん NOT 悪性腫瘍	1434	-
がん AND 治療	222	-

同義語がある場合、そのうち1つの検索だけでは不十分な場合も。



イメージ図

精度・再現率 という考え方

ノイズも煩わしいけど、検索漏れも厄介だな。



例えばAND検索で精度を、OR検索で再現率を高めてみる等、視点を変えた検索を繰り返すことが、検索する側に求められる。



精度 D/B、TP/(TP+FP)

どれだけ正確な検索が出来たかを表す。

再現率 D/C、TP/(TP+TN)

どれだけ網羅的な検索が出来たかを表す。

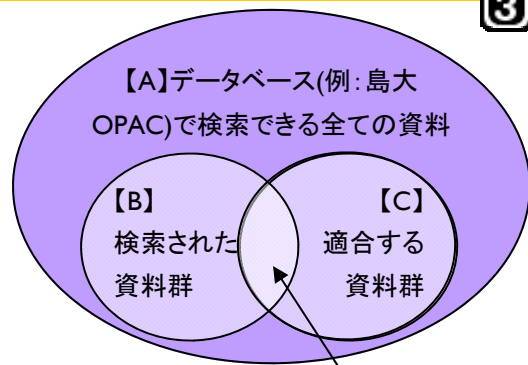
ノイズ FP/(TP+FP)

検索されてしまった不要な情報

検索漏れ TN/(TP+FP)

検索されなかった必要な情報

「必要な資料だけ」を「すべて」検索したいものですが、これが実は困難です。精度が上がれば検索漏れが増え、再現率が上がればノイズが増えるためです。精度と再現率は一般的に反比例の関係にあるため、上述のように検索できる、完全無欠な検索システムは存在しないという認識が必要です。



【D】検索結果のうち、ニーズに適合している資料群(BかつC)

	検索された資料(Positive)	検索されなかった資料(Negative)
適合する資料(True)	TP	TN
適合しない資料(False)	FP	FN

件名 という考え方

同義語を全部OR検索するの、面倒だなんて思ってたのよね。



上位語・下位語で検索の範囲を広げたり狭めたりしたいときも、件名は役に立つかも！



ほとんどの資料には、件名が付けられています。これは分類と同様に、資料の主題(内容・テーマ)等を表すものです。分類が英数字等の記号で表記される一方、件名は言葉そのもので表され、より多角的に主題を表すことができます。

1. 同義語をまとめる役割

例:NDLSH) 癌、悪性腫瘍、Cancer、癌腫、肉腫
→「癌」という1つの言葉でまとめて検索

2. 体系と構造を明示する役割

例:NDLSH) 「癌」の上位語が「腫瘍」、
下位語が「乳癌」「白血病」「皮膚癌」等

	名称	作成
BSH	基本件名標目表(Basic Subject Headings)	日本図書館協会
NDLSH	国立国会図書館件名標目表(National Diet Library Subject Headings)	国立国会図書館
LCSH	米国議会図書館件名標目表(Library of Congress Subject Headings)	米国議会図書館
MESH	医学件名標目表(Medical Subject Headings)	米国国立医学図書館

島大OPACの書誌詳細画面(第5回で説明予定)で件名を確認することが出来ます。クリックすると、件名をキーワードとした検索(同義語はまとめる等)が出来ます。

件名	BSH:医学 - 研究法 BSH:情報検索 BSH:文献探索 BSH:インターネット
----	---

【コラム】 “検索”のコツ、 Googleでも使えます

検索システムごとに異なる点に気を付けながらも、共通する“検索”のコツを押さえておくと、より効率的に日々情報活用出来る。



“ググる”という俗語も広まっているくらい一般的な検索エンジンとなっている、「Google」。そのHPはきわめてシンプル。1つの検索窓にキーワードを投げ込めば、間違ったキーワードもある程度整えてくれたり、キーワードを連想してよりの確な検索の手助けをしてくれたりします。しかし時には膨大な検索結果から必要な情報を探し出すのが困難なことも。こんな時に便利な詳細検索が、実はGoogleでも出来ます。

膨大な検索結果の表示された、検索結果画面。その右上のあたりに歯車のアイコンがあります。クリックしたその中の「検索オプション」、そこが詳細検索画面です。ここではOR検索もNOT検索も出来ます。

また、いつもの検索窓で同様の検索をする方法も明記してあります。特に役に立つのが完全一致検索。2語以上の言葉を1つのフレーズとして検索したい場合、二重引用符で囲めば良いのです。Google検索で役に立つのはこのような検索演算子と呼ばれる記号群です。この説明も「検索オプション」下部の「検索ボックスで演算子を利用」から参照でき、島大OPACと同様にアスタリスク(*)もワイルドカードとして紹介されています。Googleでの“検索”のコツもつかんで役立ててみてはいかがでしょうか。



講習・研修会等報告

第2回医学図書館運営会議の報告

本年度第2回の医学図書館運営会議が以下のとおり開催されました。(メール会議)

日 時: 平成25年5月24日から5月31日(メール審議)

議 題: 学生用講座推薦図書の購入について

平成25年度学生用講座推薦図書について、52講座・診療科より推薦があり、審議の結果369冊の図書購入が了承された。

第84回医学図書館協会総会・分科会の報告

第84回日本医学図書館協会総会・分科会が先日、東京で開催されました。特別講演は、医療の質を表わす指標(Quality Indicator: QI)を測定し、PDCAサイクル(Plan→Do→Check→Act)を意識した、医療の質改善の実践について、また、分科会は診療ガイドライン作成への図書館員のかかわりについて等、示唆に富むものでした。

日 時: 平成25年5月23日(木)～24日(金)

会 場: 日本科学未来館(東京)

- ・特別講演「医療の質を測り改善する-聖路加国際病院の経験と国内外の動向」
聖路加国際病院院長(日本医学図書館協会会長) 福井 次矢
- ・分科会 ○診療ガイドラインの最新動向と作成支援
○患者さんへの医療・健康情報の提供

平成25年度講座等図書事務説明会の報告

医学図書館では、本年度の講座等事務担当者向けの説明会を以下の日程で開催しました。

この説明会は医学部講座等における、図書館関係業務の円滑な実施と、図書館サービスの利用促進を目的とし、2011年度より毎年実施しています。本年度は合わせて15名の参加がありました。

・2013年6月4日(火)～5日(水)の午前・午後の3回に分けて実施

図書関係・雑誌関係・利用関係という3種類の内容の説明を1時間に詰め込みました。図書と雑誌に関しては、その購入方法と管理上の注意点等をそれぞれ説明し、利用に関しては利用証や文献複写について扱いました。時間の都合で省略した、蔵書検索や電子ジャーナルなどの検索実習の要望もあり、今後、実施に向けて検討します。ご参加いただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。質疑応答やアンケート等でいただいたご意見・ご要望は、図書館サービスの向上や次年度以降の説明会改善等に役立てていきたいと思っております。



お知らせ



今風 著作権Q&A “自炊”にはご注意ください！

先日、医学図書館協会／日本医書出版協会で作成された「医学生・医療従事者のための著作権の基礎知識」を各講座等宛に配布しました。このパンフレットは、学術情報の利用者であり、また、いずれ生産者ともなる医学生や医療従事者が知っておくべき著作権の基礎知識を、簡単な○×クイズ形式でまとめられています。内容は、大学や医療機関での複写・電子化とその利用範囲、特に最近問題になっている、既存出版物の個別電子化と利用(自炊)などについて言及があり、注意が喚起されています。今後とも電子情報化社会における著作権のルールを遵守して学術情報をご利用ください。なお、パンフレットの残部は医学図書館2階のカタログ・ボックスにも置いています。

●参考:「著作権について-医学・看護文献をコピーされる方へ」 <http://www.medbooks.or.jp/>

編集後記



今号は盛り沢山の記事につき、概要説明を圧縮しました。詳細は記載した図書館HPメニューやURL等でご確認下さい。連載企画、“マスターしよう！島大OPAC-第3回「検索にはコツがある」”と、いよいよ佳境？に入ってきました。引き続きご愛読ください。さて、来週から7月、梅雨が明ければ本格的な夏の到来です！(S.K.)

発行日 2013(平成25)年 6月 27日
発行者 島根大学附属図書館医学図書館
〒693-8501 出雲市塩冶町89-1
TEL: 0853-20-2092 FAX: 0853-20-